

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	178	人権啓発推進経費	01	01	一般会計
			02	02	総務費
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	01	01	総務管理費
			18	18	人権啓発費
担当部課名		青山支所 人権同和課	101	101	人権啓発推進経費
作成者氏名	藤田 幸一	連絡先 52-3232	01	01	人権啓発推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	支所管内の市民(個人・法人・その他の団体等)	一人ひとりの人権意識が高揚することにより、偏見や差別意識が解消され、明るく住みよいまちづくりが進む。			
<p>本部署差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けた啓発活動を行い、一人ひとりの人権に対する知識や理解を深める。</p> <p>年・「同和問題講演会」の開催 度・「人権のつどい」の開催 事・「地区懇談会」の開催 業・「企業訪問」(企業啓発事業)の実施 内・管内「落書き」等の巡視 容・街頭啓発活動</p>					
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.8	1.3	1.8
人件費合計(A)	12,960	9,360	12,960
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,229	2,178	2,000
委託料	19	200	200
報償費	220	285	250
その他	1,990	1,693	1,550
合計(A+B)	15,189	11,538	14,960
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	133	150	150
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	15,056	11,388	14,810
上記①～③に関する特記事項			
平成18年度は正規職員1名が育児休暇中			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
「同和問題講演会」参加者数	人	275	290	305			
「人権のつどい」参加者数	人	311	325	340			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
人権イベント等に参加し、学習経験が多い人ほど人権問題を解決していこうとする志向が強くなるため、参加者数を拡大する。	前年度の同一事業の参加者数を分母とし、当該年度の参加者数を分子とする率を指標とする。	%	89 目標 ()	105	105
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

広範な市民の参加が得られるような講演内容、講師等の選定について検討が必要である。人権について、一人でも多くの市民に参加いただくための周知・PRを徹底し、各種人権団体の協力も得られるようにする。
--

評価	必要性	4	人権問題について理解を深め、人権意識を高めるため、「同和問題講演会」や「人権のつどい」を開催し、啓発に努めた。参加者によるアンケートでは、講演の内容についても理解を得られ、人権意識も向上していただけたものと評価している。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		